

## 第1章

# 事業の概要



## 趣 旨

現在、グローバル化が進展する中で、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、国際社会のみならず、地域社会等においてもグローバル化対応を牽引・指導するリーダーが必要となっている。「世界青年の船」事業は多様なバックグラウンドを持つ青年が参加し、各分野でリーダーシップを発揮して、社会貢献を行うことができる青年を育成することが趣旨で

ある。さらに本事業は、諸外国青年が集まる世界の縮図といえる環境で、共同生活をしながら、セミナーやディスカッション、文化交流の機会を提供することにより、相互理解や国境を越えた人的ネットワークの形成を促進し、人材育成面での国際貢献を行うことも目指すものである。

## 参加国・寄港地・使用船

### 1 参加国・寄港地

参加国は 11 か国で、これらの国から合計 242 名（外国参加青年 117 名、日本参加青年 125 名）の青年が参加した。

- ・オーストラリア連邦
- ・インド
- ・メキシコ合衆国
- ・モザンビーク共和国
- ・オマーン国
- ・ペルー共和国
- ・ポーランド共和国
- ・南アフリカ共和国
- ・スペイン王国
- ・スリランカ民主社会主義共和国
- ・日本

訪問国は以下の 2 か国である。なお、( ) 内は寄港した都市。

- ・インド (コチ)
- ・スリランカ (コロンボ)

### 2 使用船

「世界青年の船」事業における船上研修は、商船三井客船株式会社が備船する「にっぽん丸」を使用し、その運航も同社に委託した。



## 事業内容

「世界青年の船」事業では、日本と世界の 10 か国の青年が、34 日間にわたる陸上、船上研修及び訪問国活動に参加し、世界的視野に立った共通の課題に関するディ

スカッションやセミナーを始め、各種の研修や交流活動を行った。

### 1 事業の準備日程

平成 29 年度「世界青年の船」事業の準備日程は、次のとおりであった。

事 項	期 間
日本参加青年選考試験	平成 29 年 6 月 17 日 (土)、18 日 (日)、24 日 (土)
各国政府担当職員等招へい会議	平成 29 年 8 月 3 日 (木) ～ 8 月 4 日 (金)
ファシリテーター会議	平成 29 年 9 月 6 日 (水) ～ 9 月 10 日 (日)
事前研修 (日本参加青年のみ)	平成 29 年 9 月 8 日 (金) ～ 9 月 13 日 (水)
地方プログラム受入都道府県担当者会議	平成 29 年 10 月 11 日 (水)
NL 会議	平成 29 年 10 月 16 日 (月) ～ 10 月 19 日 (木)
事前調査	平成 29 年 10 月 22 日 (日) ～ 10 月 29 日 (日)
外国参加青年及び外国 NL の選考	

### 日本参加青年選考試験

参加青年の応募資格は、次のとおりであった。

- ① 日本の国籍を有し、平成 29 年 4 月 1 日現在、18 歳以上 30 歳以下の者
- ② 地域、職域、学校又は青少年団体等において、帰国後もその経験をいかして国際交流活動、青少年活動等を活発に行うことが期待できる者
- ③ 心身が健康で協調性に富み、事業の計画に従って規律ある団体行動ができる者
- ④ 日本の社会、文化、スポーツ等について相当程度の知識又は技能がある者

- ⑤ 訪問国に対して関心と理解がある者
- ⑥ 事業期間中、定められた活動を円滑に行うことができる英語力を有する者
- ⑦ 事前研修、出航前・陸上研修、船上研修、帰国後研修の全日程に参加できる者

内閣府は、書類選考を行った後、一次選考合格者に対して 6 月 17 日、6 月 18 日及び 6 月 24 日の三日間、東京及び大阪において一般教養、英語及び人物に関する選考試験を実施し、127 名を二次選考合格とした。

### 各国政府担当職員等招へい会議

平成 29 年 8 月 3 日、4 日の二日間、内閣府において各国政府担当職員招へい会議を開催し、訪問国活動案について話し合いを行った。

この会議の後、必要な事項について在外公館を通じて各国政府と調整を行った。また、内閣府では、本事業にかかる支援業務の委嘱先である(一財)青少年国際交流

推進センターを通じて各国の担当者調整しながら日程を作成した。訪問国先であるインド、スリランカ民主社会主義共和国については課題別視察先及び高等教育機関でのディスカッションを実施するための施設訪問先の選定を行った。

## ファシリテーター会議

事業の円滑かつ効果的な実施を図るため、平成 29 年 9 月 6 日から 10 日の五日間にわたり、コース・ディスカッションを担当するファシリテーター 7 名の出席を得て、ファシリテーター会議を開催した。会議では、「世界青年の船」事業及びコース・ディスカッションの趣旨及び

## 事前研修（日本参加青年のみ）

9 月 8 日から 9 月 13 日までの六日間、最終選考を兼ねた事前研修を国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて実施した。この研修は、本事業の効果的な目的達成を図るため、日本青年に事業の趣旨及び目的を十分に理解させ、日本代表としての心構えを養い、団体活動の基本等を習得させることを目的とし、合宿形式で行った。事前研修では、事業説明を含むオリエンテーション、NL による参加青年間のアイスブレイキング、リーダーシップ、異文化理解及びプロジェクトマネジメントに関する講演、ディスカッション研修、プロトコルを学

## 地方プログラム受入都道府県担当者会議

内閣府は、平成 29 年 4 月、本事業外国参加青年を受け入れる 5 県（岩手県、山形県、石川県、山口県、熊本県）に対し、文書等により地方プログラムの際の各県における表敬訪問、歓迎会、ホームステイ、施設見学又は文化体験等の企画を依頼した。これを受け、各県はそれぞれ受入計画案を作成し内閣府へ提出した。平成 29 年 10 月 11 日、内閣府において、受入各県の担当者の出席を得て、

## NL 会議

本事業をより円滑に進めていく上で、各国 NL と事前に連絡、打合せ、協議を行うことが望ましいとの視点から、平成 29 年 10 月 16 日から 19 日の四日間にわたり、NL 会議を開催した。

会議では、事業の目的、日本国内活動、生活一般、陸

## 事前調査

内閣府担当官及び支援業務の委嘱先である（一財）青少年国際交流推進センターの担当者が事前調査のため、インド、スリランカ民主社会主義共和国を訪れ、訪問国の受入担当者等との打合せを行った。この事前調査で、訪問国活動の詳細な内容についての連絡・調整を行うとともに、寄港する港、訪問・見学先等を実際に踏査し、

概要説明を行い、事業の目的等について認識を共有するとともに、その運営について打合せを行った。また、ファシリテーターは 9 月 8 日から始まった日本参加青年の事前研修の実施にも一部、協力した。

ぶセミナー、コース・ディスカッションや委員会活動等に関する研修、寄港地活動の準備、既参加青年との懇談等を行った。

事前研修最終日に、126 名（NL 及び SNL を除く）を日本参加青年として決定した。また、日本参加青年を統率する日本 NL を小島まき子氏、SNL を白木邦貞氏に委嘱した。

以後、事業終了までの間に辞退者等があり、最終的に日本参加青年は 123 名（NL 及び SNL を除く）となった。

受入県担当者会議を開催し、外国参加青年の受入計画について打合せを行った。内閣府ではその後、本事業にかかる支援業務の委嘱先である（一財）青少年国際交流推進センターを通じて各県の担当者と調整しながら最終日程を作成した。また、各県はホームステイ引受け家庭の選定をするなど地方プログラム実施に向けて諸準備を進めた。

上及び船上研修、寄港地活動等について内閣府側から説明を行った後、各国 NL 間で、生活時間や生活規律、事業参加までの諸準備等、本事業実施に関する事項について熱心かつ綿密な討議が行われた。

団体での移動や見学を行う際の問題点等について調査をした。

上記事前調査の結果を踏まえ、更に受入担当者等と綿密に連絡を取り、内容等の調整を行った上で、支援業務の委嘱先である（一財）青少年国際交流推進センターが、訪問国活動日程を取りまとめた。

## 外国参加青年及び外国 NL の選考

外国参加青年及び外国 NL 候補者の募集は、参加国を管轄する日本国在外公館長を通じて参加国政府に推薦を依頼し、日本国在外公館長は参加国政府と協議の上、候補者を内定し、内閣府青年国際交流担当室長が最終的に外国参加青年 108 名、NL10 名を決定した。以後、事業終了までの間に辞退者等があり、最終的に外国参加青年は 107 名（NL を除く）が事業を修了した。

### 1. 外国参加青年

外国参加青年（NL を除く）の資格要件は、次のとおりであった。

- ① 平成 29 年 4 月 1 日現在、18 歳以上 30 歳以下の者
- ② 定められた日程の全期間を通して参加できる者
- ③ 心身共に健康で、航海に耐えることができる者
- ④ 本事業の趣旨・目的を十分に理解し、事業の計画に従って、規律ある行動ができる者
- ⑤ 地域、職域、学校又は青少年団体等において、青少年健全育成活動への寄与及び国際交流の分野での活躍が期待できる者

- ⑥ 大学レベルの議論等諸活動を円滑に行うことができる英語力を有する者
- ⑦ 日本に対して関心と理解のある者
- ⑧ 「世界青年の船」事業を含む内閣府国際青年交流事業の既参加青年でない者

### 2. ナショナル・リーダー

NL の資格要件は、左記：1 の②から⑦のほか、次のとおりであった。

- ① 原則として 30 歳代の者
- ② NL の任務である自国青年の統率、陸上及び船上研修における活動の基礎単位となる参加各国混成グループのリーダーとしての役割、陸上及び船上研修における生活、活動に関する基本的事項等について協議・決定する NL 会議の構成員として活動を遂行できる能力を有する者
- ③ 青少年団体の役員若しくは青少年関係官公庁職員が望ましい
- ④ 「世界青年の船」事業の既参加青年であることが望ましい

2 詳細日程

月日	午前① 9:30～10:40	午前② 10:50～12:00	午後① 13:40～14:50	午後② 15:00～16:10	午後③ 16:20～17:30	夜 20:00～21:10
1 1.16 (火)	外国参加青年来日					
2 1.17 (水)	10:00～12:00/12:00～14:00 オリエンテーション、歓迎会					
3 1.18 (木)	地方プログラム (表敬訪問、歓迎会)					
4 1.19 (金)	地方プログラム (ホームステイ)					
5 1.20 (土)	OPY:地方プログラム (ホームステイ) JPY:出航前研修					
6 1.21 (日)	OPY:地方プログラム (東京へ移動) JPY:出航前研修					アイスブレイキング
7 1.22 (月)	開講式・全体オリエンテーション	コース顔合わせ	レター・グループ別 委員会決め	異文化理解講座 (IDI)	委員会活動①/ インターベンション 講習(NLのみ)	
8 1.23 (火)	都内視察					自主活動
9 1.24 (水)	リーダーシップ・セミナー①	NP ①				自主活動
10 1.25 (木)	コース・ディスカッション (導入)	課題別視察				自主活動
11 1.26 (金)	スポーツ&レクリエーション①	休日				
12 1.27 (土)	プロジェクト・マネジメント・ セミナー①	コース・ディスカッション①～17:00	—		19:00～ クラブ活動紹介/ オリセン退所説明	
13 1.28 (日)	日本科学未来館視察	横浜港へ移動	フリータイム	乗船	ADM オリエン テーション	
14 1.29 (月)	9:00-10:30 / 10:45-11:00 / 11:15-11:45 出国手続き、船側オリエンテーション、 避難訓練	13:30-15:00 / 15:00-15:30 オープンシップ、 出航式	16:00 横浜出港		委員会活動②	
15 1.30 (火)	半休日	管理官講話 / 船長講話				
16 1.31 (水)	半休日	特別セミナー トランジション・タウン / 心理学セミナー				
17 2.1 (木)	委員会活動③	半休日				
18 2.2 (金)	PY セミナー①	スキルセミナー①	レター・グループ 活動①	自主活動		
19 2.3 (土)	リーダーシップ・セミナー②	コース・ディスカッション②				自主活動
20 2.4 (日)	半休日	プロジェクト・マネジメント・ セミナー②	委員会活動④			
21 2.5 (月)	リーダーシップ・セミナー③	クラブ活動①				自主活動
22 2.6 (火)	入港 9:00 出港 19:00	シンガポール寄港 (給油・給水)				NPリハーサル ～ 22:00
23 2.7 (水)	PY セミナー②	コース・ディスカッション③				NPリハーサル ～ 22:00
24 2.8 (木)	NP ②					自主活動 (デリゲーション パーティー: MEX, PER)
25 2.9 (金)	半休日	公式写真撮影	半休日			自主活動 (デリゲーション パーティー: JPN)
26 2.10 (土)	プロジェクト・マネジメント・ セミナー③	PY セミナー③	訪問国活動準備			自主活動 (デリゲーション パーティー: OMA)

月日	午前① 9:30～10:40	午前② 10:50～12:00	午後① 13:40～14:50	午後② 15:00～16:10	午後③ 16:20～17:30	夜 20:00～21:10
27 2.11 (日)	入港 9:00	コチ入港	訪問国活動 (インド)			レセプション
28 2.12 (月)	訪問国活動 (インド)					
29 2.13 (火)	出港 18:00	訪問国活動 (インド)			コチ出港	振り返り
30 2.14 (水)	公式写真撮影 / ブリッジツアー		PY セミナー④	訪問国活動準備	レター・グループ 活動②	自主活動
31 2.15 (木)	入港 9:00	コロンボ入港	訪問国活動 (スリランカ)			レセプション
32 2.16 (金)	訪問国活動 (スリランカ)					
33 2.17 (土)	出港 18:00	訪問国活動 (スリランカ)			コロンボ出港	振り返り
34 2.18 (日)	休日					(デリゲーション パーティー: POL)
35 2.19 (月)	コース・ディスカッション④		委員会活動⑤	スポーツ&レクリエーション②		自主活動 (デリゲーション パーティー: SRI)
36 2.20 (火)	スキルセミナー②		クラブ活動②			自主活動
37 2.21 (水)	リーダーシップ・セミナー④		コース・ディスカッション⑤			自主活動 (デリゲーション パーティー: IND)
38 2.22 (木)	入港 9:00 出港 22:00	シンガポール寄港 (給油・給水)				
39 2.23 (金)	事後活動セッション①			クラブ活動③		自主活動 (デリゲーション パーティー: ESP)
40 2.24 (土)	事後活動セッション②			エキシビション (クラブ活動の成果発表)		自主活動 (デリゲーション パーティー: AUS/ MOZ/RSA)
41 2.25 (日)	休日					
42 2.26 (月)	自主活動	レター・グループ 活動③	サマリー・フォーラム準備			自主活動
43 2.27 (火)	リハーサル	サマリー・フォーラム			自主活動	
44 2.28 (水)	評価会		修了式	下船説明	フェアウェルディナー	
45 3.1 (木)	下船準備					
46 3.2 (金)	入港 8:00	東京帰港	11:30 解散式・解散交歓会	下船	(外国参加青年は成田空港へ、 日本参加青年は帰国後研修へ)	
47 3.3 (土)	日本参加青年帰国後研修					



### 3 研修科目

研修科目	研修内容
オリエンテーション 全体オリエンテーション (2 時間 20 分)  アイスブレイキング (1 時間)	管理官挨拶、アドバイザー・NL・管理部員紹介 カリキュラム説明等 参加青年同士の交流
<b>研修科目</b> リーダーシップ・セミナー (6 時間 20 分) プロジェクトマネジメント・セミナー (4 時間) 心理学セミナー (1 時間 20 分) 都内視察 (1 日) 委員会活動 (4 時間 40 分) コース・ディスカッション ・全 5 回のセッション (12 時間 30 分) ・サマリー・フォーラム準備・発表 (8 時間 10 分) ・課題別視察 (日本、インド、スリランカ) 計 3 回 スポーツ・レクリエーション (4 時間 40 分) 計 2 回 PY セミナー (7 時間) スキルセミナー (4 時間 40 分) ナショナル・プレゼンテーション (15 時間 20 分) 事後活動セッション (4 時間 40 分) フェアウェル・ディナー (1 時間)	リーダーシップに関する有識者セミナー プロジェクトマネジメントに関する有識者セミナー 心理学に関する有識者セミナー レター・グループごとの視察活動 参加青年による各種活動の企画・運営 「青年の社会貢献」をテーマとしたディスカッション ファシリテーター主導のディスカッション コース・ディスカッションのまとめ・発表 各コースのテーマ、あるいは社会貢献活動に取り組む施設訪問 レター・グループ単位で行う運動会 参加青年が発表者となるセミナー等 参加青年が自分自身のスキルを他の参加青年に共有 参加青年による自国の文化等の紹介 既参加青年による事後活動の説明及び事業後の社会貢献 各種趣向を凝らした船内最後の夕食会
<b>公式行事</b> 外国参加青年歓迎パーティー 表敬訪問 オープンシップ 出航式 船側オリエンテーション・避難訓練 訪問国活動 (インド、スリランカ) (計 6 日間) ・訪問国活動準備 (4 時間 40 分) ・訪問国活動振り返り (2 時間 20 分) 公式写真撮影 下船説明 評価会 修了式 解散式・解散交歓会	来日した外国参加青年の歓迎パーティー 参加青年の代表による内閣総理大臣表敬及び皇太子殿下御接見 船内見学 出航前のセレモニー 船側施設の説明、船内非常時を想定した避難訓練 各種施設の視察、現地の青年や関係者との交流 訪問国活動における事前準備 訪問国活動での学び・気付きの共有 報告書用の写真撮影 下船手続きの説明 事業評価用のアンケート記入等 修了証書の授与等 解散式、交歓会
<b>その他</b> 外国参加青年地方プログラム 日本参加青年出航前研修及び帰国後研修 デリゲーション・ミーティング レター・グループ活動 自主活動	表敬訪問、各種施設の視察、ホームステイ 日本参加青年のみの研修 各国ごとの活動 レター・グループごとの活動 (原則、毎日 30 分) 参加青年が自由に企画する活動

※寄港地活動での科目を除く

※合計：約 252 時間 40 分

## 組織

「世界青年の船」事業は、管理官・副管理官・管理部員等（管理部）、アドバイザー並びに参加青年をもって組織した。また、本事業を円滑に実施するために、ナショナル・リーダー会議を実施した。

### 1 管理官、管理部員

管理官	駒形 健一	内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付国際調整官
副管理官	大部 俊	内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青年国際交流担当）付参事官補佐（青年交流第 2 担当）

管理部員等 28 名

《任務》 管理官は、本事業の実施に関し日本政府を代表し、本事業の実施に係る事務を統括する。副管理官は、管理官を補佐し、管理官に事故があるときは、その職務を代行する。管理部員は、管理官の命を受けて、本事業に係る事務を処理する。

### 2 アドバイザー

榎本 英剛	よく生きる研究所 代表
ジョナサン・アラジャ・ソロザノ	Tek-Experts Ltd. グローバル・オペレーション・マネジャー
高橋 司	ホスピタル坂東

### 3 参加青年

参加青年は、参加国団、レター・グループ、委員会、コース・ディスカッションの四つのグループに所属し、陸上及び船上研修で各種活動を行った。

#### 参加国団

各参加国団のうち、それぞれ 1 名をナショナル・リーダー (National Leader: NL) とし、日本については、加えて 1 名をサブ・ナショナル・リーダー (Sub-National Leader: SNL) とした。また、各国について、参加青年のうち、2 名をアシスタント・ナショナル・リーダー (Assistant National Leader: ANL) とした。

#### 《任務》

- NL は自国を代表するとともに、自国の代表団を統率し、かつ、NL 会議を構成する。NL 会議は、管理官からの依頼に従い、事業期間中における生活、活動の基本的事項について協議し、決定する。SNL は、NL を助け、上記の役割を担う。
- ANL は、NL 及び SNL を補佐し、NL 及び SNL に事故があるときは、その役割を代行する。